

本講座は、オンラインでの受講に対応いたします。

未来響創®  
IEで拓くモノづくりとサービスの新たな価値

多様化時代の初中級生産技術者必須!!利益につながるレイアウトの改善術

# 『現場レイアウトの見方・考え方』

日時/2025年4月17日(木) 10:00~17:00

会場/ 東京・平河町近辺の会議室

受講料/日本IE協会・他地区協会会員 39,600円

一般 52,800円

日本生産性本部 賛助会員 46,200円

(一名様につき 税込み・テキスト代込み)



講師

㈱MEマネジメントサービス 顧問

経営コンサルタント 技術士(経営工学)

小川 正樹 氏

## 人と設備の能力を最大化しリスクに対応したレイアウトになっていますか?

日本のモノづくりは、顧客要求の多様化と地球環境の変化などにより、製品(P)、生産量(Q)、生産経路(R)、サービス(S)、時間(T)とリスク対応が大きく変革しています。しかし、工場内の生産技術者は、この変化に対応した「高付加価値を実現するあるべき姿のレイアウト」への標準的設計アプローチに対応できていない現実があるようです。

本セミナーでは、**工場レイアウトに影響する必要項目の分析と手順をまず理解し、生産方式に対応した現場レイアウトの見方から変え方までとリスク対応を考慮したレイアウト視点での改善術の基礎から適用まで**、演習、講師の豊富な経験をもとに、わかりやすく解説します。

※ご参加のみなさまには小川講師共著『すぐに使える工場レイアウト改善の実務』日刊工業新聞社を進呈!!

## 【プログラム】

### 1. 『レイアウト改善で現場が変わることとは』

- (1) 「レイアウト」って何? **【演習】現場で発生しているムダが見える化する**
- (2) 製造リードタイムが短縮できる
- (3) 運搬のムダが低減できる
- (4) 時間のムダや仕掛在庫スペースが削減できる

### 2. 『レイアウトの鍵：PQRSTとSLP』

- (1) SLPにおけるレイアウト改善のステップ
- (2) モノの流れを「見える化」する
- (3) 部門、機械設備、倉庫などの関係を相互関係図で整理する
- (4) ハザードマップとリスク対応策
- (5) 標準面積データを活用する

**【演習】必要な面積を求め、レイアウト案を作成・評価する**

### 3. 『リードタイムを短縮する生産方式とレイアウト改善の勘どころ』

- (1) モノづくりの基本とレイアウト
- (2) レイアウトのタイプと特徴
- (3) リードタイムを短縮する同期生産方式の作り方
- (4) 同期(ライン)生産方式の改善のポイントとレイアウト

**【演習】バランスロス減らすライン編成分析の進め方**

### 4. 『生産品種と数量の変動に対応する生産方式とレイアウト改善の勘どころ』

- (1) 工場が対応すべき要因と対応策
- (2) 1工程完結セルへの改善ポイントとレイアウト
- (3) 柔軟性を向上させるハイブリッド生産方式
- (4) 工場レイアウトの改善事例

**【演習】サイクルタイムの異なる類似製品を同じラインで生産する**

### 5. 『現場のリスクアセスメントとレイアウト改善の実践』

- (1) 現場で発生するリスクとは
- (2) 安全リスクアセスメントと危険予知
- (3) 生産性向上に結びつくレイアウト改善
- (4) ヒューマンエラー撲滅に結びつくレイアウト改善

### 6. 『レイアウトを儲けにつなげる』

- (1) レイアウト改善投資の採算性を計算する
- (2) 変動加工賃率を計算しよう

**【演習】レイアウト投資の損得を計算する**

※演習で使う WindowsPC を準備願います



参加者に進呈します!!

